



被爆80周年

Piece of Peace
平和のかけら

広島交響楽団 第450回定期演奏会

Hiroshima Symphony Orchestra The 450th Subscription Concert

ヴォルフガング・リーム

オーケストラのための「厳粛な歌」

Wolfgang Rihm: "Ernster Gesang" for Orchestra

ヤナーチェク

シンフォニエッタ

Janáček: Sinfonietta

ブラームス

ピアノ協奏曲第1番 二短調作品15

Brahms: Piano Concerto No.1 in D minor Op.15

コンサートマスター: 四方恭子、北田千尋

Concertmaster: Kyoko Shikata, Chihiro Kitada

二つの旅

25歳でヤナーチェク・フィルの首席指揮者に任命されたアルミンクの指揮者としてのルーツを探る旅として「シンフォニエッタ」をシーズン・オープニングに選曲。もう一つの旅は昨年7月にこの世を去ったアルミンクが慕う作曲家、ヴォルフガング・リームの追悼としての「厳粛な歌」からブラームスへ還る旅。この二つの旅がアルミンクの中で融合し調和へと向かう、平和へのプロローグ。ゲニューシャスの繊細で知性に溢れたピアノイズムにも期待。

2025.4.12(土) 15:00開演
[14:00開場]

Saturday April 12, 2025 Start 15:00 [Open 14:00]

広島文化学園HBGホール 広島市中区古古町3-3

Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

チケット(税込/全席指定)

S席5,800円・A席5,200円・B席4,500円(学生1,500円)

※学生席は小学生以上25歳以下の学生が対象。要学生証。(広警事務局のみで取り扱い)

チケット発売日/2025年2月20日(木)

プレイガイド/ローソンチケット(Lコード:63262)、チケットぴあ(Pコード:289-289)、広警事務局

主催/公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社

助成/公益財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団

プレミアム協賛/



後援/広島県、広島市、広島市教育委員会、NHK広島放送局、中国放送、テレビ新広島、広島テレビ、広島ホームテレビ、広島エフエム放送、ちゅびCOM、月刊ウェンディ出版局

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。
※就学前のお子さまのご入場はご遠慮ください。
※開演時間に遅れられた場合、入場に制限がございます。

お申し込み・お問い合わせ

広警事務局 TEL:082-532-3080 <http://hirokyo.or.jp>



広警公式HP

指揮 クリスティアン・アルミンク

Conductor: Christian Arming

©Shumpei Ohsugi

ピアノ ルカス・ゲニューシャス

Piano: Lukas Geniušas

©Irina Polyarnaya



第450回定期演奏会

Hiroshima Symphony Orchestra The 450th Subscription Concert

指揮 クリスティアン・アルミンク

Conductor: Christian Arming

ウィーン生まれ。レオポルト・ハーガーや小澤征爾のもとで研鑽を積み、ボストン響や新日本フィルにデビュー。ヤナーチェク・フィルの首席指揮者、ルツェルン歌劇場およびルツェルン響の音楽監督などを経て、2003～13年に新日本フィル、2011～19年にベルギー王立リエージュ・フィルの音楽監督として活躍した。2017年から、広島交響楽団の首席客演指揮者を務め、2024年に同団の音楽監督に就任。

これまでにチェコ・フィル、ドレスデン・シュターツカペレ、フランクフルト放送響、ウィーン響、ザルツブルク・モーツァルテウム管、トゥールーズ・キャピトル国立管、スイス・ロマン管、ボストン響、シンシナティ響、N響などに招かれ、オペラではフランクフルトやストラスブールの歌劇場、新日本フィルなどで《ドン・ジョヴァンニ》《サロメ》《ホフマン物語》《フィレンツェの悲劇》などを指揮している。2019年に小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトで小澤征爾と共に《カルメン》全4公演、2024年に東京二期会オペラ《コジ・ファン・トゥッテ》全6公演を指揮し、岡山公演では広響と共に演奏した。

レコーディングも数多く、ヤナーチェク・フィルとのヤナーチェク、シューベルト作品、新日本フィルとのブラームス／交響曲第1番、マーラー／交響曲第3番および第5番、リエージュ・フィルとのフランク／交響曲二短調などをリリース。また、シルバ・オクテット、リエージュ・フィルとの共演によるディスクがドイツ・グラモフォンからリリースされた。



ピアノ ルカス・ゲニューシャス

Piano: Lukas Geniušas

1990年モスクワで音楽一家に生まれる。とりわけモスクワ音楽院の教授だった祖母のゴルノスターエワからは大きな影響を受けた。2010年のショパン国際コンクールと2015年のチャイコフスキー国際コンクールで両方第2位に輝いたほか、主要コンクールで輝かしい成績を収めている。

これまでにプレトニョフ、スラットキン、デュトワ、ソヒエらの指揮のもと、パリ管、フランス放送フィル、トゥールーズ・キャピトル国立管、フィラデルフィア管、ロシア・ナショナル管、N響などと共演。リサイタルでは、ロンドンのウイグモアホール、アムステルダム・コンセルトヘボウ、パリのサル・ガヴォーなど世界の主要ホールに招かれているほか、ヴェルビエ、ラ・ロック・ダンテロンなどの著名音楽祭にも出演している。室内楽では、ヴァイオリンのアイレン・プリッチン、ピアノのアンナ・ゲニューシェネ、ソプラノのアスミク・グリゴリアンなどと共演を重ねている。

最近のハイライトとして、ラフマニノフの未出版の手稿譜に基づくピアノ・ソナタ第1番の初演を各地で精力的に行っており、スイスのルツェルン湖畔に残るラフマニノフの別荘で、彼の60歳の記念にスタインウェイが贈ったピアノを使って初録音した同曲のディスクが大きな注目を集めている。



次回予告 第451回定期演奏会

2025.5.16(金) 18:45開演
[17:45開場] 広島文化学園HBGホール

ドビュッシー: 牧神の午後への前奏曲

ラヴェル(生誕150周年): ピアノ協奏曲ト長調

ラヴェル: 高雅で感傷的なワルツ

ドビュッシー: 交響詩「海」 — 3つの交響的スケッチ



©Marco Borggreve

指揮
シルヴァン・カンブルラン



©Ayustet

ピアノ
阪田知樹



2025年度
定期会員募集のご案内

4月～3月の定期
全10回

S席 41,300円 A席 37,100円 B席 32,200円

お申し込みは広響事務局までお電話ください。(受付期間2025年2月17日～2025年4月11日)